

競技上の注意

- (1) 小雨決行。試合の有無や日程の変更等は必ず本部（会場）で確認すること。
- (2) 試合前の練習はサービス（一人が左右2本ずつ）のみとする。
- (3) ファーストサービスの際は、セカンドサービス用のボールを身につけて行うこと。
- (4) プレーは連続して行われねばならない。プレーとプレーの間は25秒以内とする。
- (5) 体力消耗、痙攣等による試合中断は認めない。事故等による中断はレフェリーの判断による。
- (6) 選手の服装はテニスウェアとし、全国高体連服装規定に基づく。
- (7) ボールパーソンは、シングルス各校2名、ダブルス各校1名置くことを原則とする。
- (8) 選手は、試合中にコートを離れてはならない。
- (9) 今大会はMTO（メディカルタイムアウト）は適用しない。選手の健康と安全に対して万全を期すため「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」に準じて対応する。
 - ①引率責任者は選手の体調管理に責任をもって対処する。
 - ②無理をさせず、選手の将来を考慮してレフェリーがリタイアを促す。
- (10) マナー正しくすること。
 - ①ファーストサービスとセカンドサービスの間は静粛にすること。
 - ②コーチングは厳禁である。見つかり次第、該当者は退場、コーチングを受けた選手は失格とする。
 - ③携帯電話等はコートに持ち込まない。やむを得ず持ち込む場合は電源を切っておくこと。
 - ④応援について
 - ・声出し応援を認めるが、当該コートの応援のみとする。
 - ・応援として立っている場所のコート後方から隣のコートを応援することは禁止である。
 - ・その場でジャンプしたり、フェンスに触れたりするような応援は禁止とする。
 - ・些細なことでも、選手に直接プレッシャーを掛けるようなことが確認された場合、当該試合の当該校は応援を禁止とする。
 - ・技術的戦術的な応援やその選手に直接アドバイスするような声掛け、またその声掛けに選手が反応するような場合はコーチングと見なし、応援した者は当該試合の応援を禁止とする。
 - ・コート1面全体を当該校1校で占拠することを禁止とする。
 - ・部旗等は試合の妨げにならないようコートの端につけることとする。
 - ⑤タオルや水筒等の選手の持ち物は、本部で籠を準備したときのみコート後方に持ち込むことができる。
 - ⑥クラブハウスの使用は原則禁止とし、トイレや自販機の利用のみでの使用とする。
 - ⑦会場内のすべての場所で、公式練習以外でのボールを使った練習は厳禁とする。
 - ⑧頭髮の加工やピアス等の該当者の出場については本部で判断する。
 - ⑨その他マナーを逸脱する行為が行われた場合は、顧問を通して学校が責任をとること。
- (11) 今大会はJTA 公式トーナメント コートオブコンダクトに違反した場合、1度目は警告、2度目は失格とする。悪質な場合はレフェリーの判断による警告なしに失格とする。なお、一度警告・失格の措置を取られた者は今大会期間中に回復することはできない。